

平成28年度事業計画

I. 基本方針

我が国の少子高齢化の進展は、昨年、総務省が、敬老の日に合わせてまとめた人口推計で、65歳以上の高齢者が3,384万人。総人口の26.7%と過去最高になり、労働力人口の不足にも大きく影響し、ますます深刻な状況になりつつあります。

「一億総活躍社会の実現」にむけ、構造的な問題に挑むとされている政府の成果に、期待を寄せたいものであります。

国庫補助金については、運営費補助から事業費補助へと切り替えが進んでおり、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業については、強化方針が示されており、今後、派遣事業の取り組みは不可欠となります。

また、介護保険制度改正において、新たに地域支援事業に位置付けられた生活支援体制整備事業が、紀南介護保険広域連合により検討協議体を設置し進めているところです。この事業は、要支援者への生活支援であり、当センターとしても大きく関わりが出てくるものと思われまます。

こうした背景にあって、高齢者の社会参加により地域を支え、同時に自らの生きがいや健康づくりに寄与するというシルバー人材センターの考え方に沿った「生涯現役社会」への取り組みは、より重要になってまいります。

一方、「会員同士の和」を大切に、を掲げ平成27年度からスタートした中期計画ですが、本年の事業実績については前年度を上回る見込みで、会員の皆様のご協力によるものと感謝しております。特に、会員の拡大については、これからもよろしく願います。

あらためて、皆様をお願いしたいことがあります。それは、一番大切な安全就業です。本年は、損害事故が1件発生しております。センター事業において、会員自らが健康管理と安全意識を徹底し就業にのぞむことが最重要です。一にも二にも「安全が第一」でありますので、保護具の完全着用、就業中の危険予知や安全確認、さらに、交通ルールを守り、事故「ゼロ」を目標に取り組んでいただきたいと思います。

これらの方針にもとづき、28年度も委員会活動を中心に、会員の皆様と共に、「地域に喜ばれるセンター」を目指し、就業開拓、会員確保など下記の事業に取り組みます。

II. 事業実施計画

1. 安全就業と健康管理

安全就業については、安全就業基準を基に、傷害事故および物損事故「ゼロ」を目標に安全対策を推進するため、ヒヤリハット事例の活用により会員同士が安全意識を共有し危険予知に繋げる。

健康管理については、会員自らが健康保持・管理に努める様周知する。

- | | |
|-----------------------|----|
| (1) 推進委員による安全パトロールの実施 | 4回 |
| (2) ヒヤリハット事例提出の推進と活用化 | 随時 |
| (3) 安全ニュースの発行 | 随時 |
| (4) 健康診断の受診奨励 | |

2. 就業機会開拓の推進

就業開拓推進を日常業務として位置づけ、会員と共働で企業・一般家庭の受注に結び

つけるとともに、新規会員の入会を促進する。

- (1) 新規の就業先開拓を行う
- (2) 自治体に就業機会の働きかけを行うとともに、連携して新規事業を検討する
- (3) 派遣事業の拡大を推進する
- (4) 口コミにより会員勧誘を行う
- (5) 町誌等への掲載により就業会員の募集等を行う

3. 普及啓発活動

シルバー事業を広くアピールするため、次の通り PR 活動を行う。

- (1) 「シルバーの日」を利用しチラシの配布を行う
- (2) 全員参加の社会貢献一善運動を行う
- (3) シルバーポスターの掲示場所・方法を検討する
- (4) マグネットシールの貼付増により PR 活動を強化する

4. 技能講習会

会員の技能向上に取り組む次の講習会を開催する。

- (1) 剪定・草刈講習会等の実施
- (2) その他講習会の実施

5. 会議、研修会

センターの適正運営と役職員等の資質向上を目的に次の会議等を行う。

< 紀宝町 >

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 理事会の開催 | 5 回程度 |
| (2) 就業開拓検討委員会の開催 | 随時 |
| (3) 事業運営委員会の開催 | 随時 |
| (4) 安全適正就業委員会の開催 | 随時 |

< 三重県シルバー連合会 >

- (1) 通常総会、事務局長会議、経理担当者会議・研修会等への出席
- (2) 安全就業推進大会等への参加

6. その他

センターの発展を目指し次の取組みを行う。

- (1) 会員交流会の実施
- (2) 地域班の充実化
- (3) その他